

令和5年度キャリアアップ研修

| NO | 期日       | 分野                     | 内容  | 講師・発表者   | 形態   | 受講者アンケートのご感想  |   |   |   |
|----|----------|------------------------|---|--|--|---|---|---|---|
| 1  | 4月26日(水) | 人権Ⅲ<br>乳児保育・教育         | 13:00～15:30<br>「子どもの人権」<br>「保育者の適切な関わり」   | 保育SOWラボ代表 非営利団体<br>コードモ/ミカタ代表理事 乳幼児<br>教育実践研究家<br>井桁 容子氏         | ZOOM<br>動画<br>視聴<br>(1週間の<br>み)            | 子ども一人ひとりを大切に<br>した保育を目指して<br>いますが、大人の都合で動<br>かしてしまう(声掛け)事<br>が意外と多いかもと気付<br>かされ、自分の保育を見<br>直そうと思う研修でし<br>た。                       | 環境の所で説明をされて<br>いたアフォーダンス理論<br>はすぐに実践をして取り<br>組んでみたいことです。  | 自分の中の決めつけや思<br>い込みをなくし、子ども<br>達のありのままの姿を見<br>て常に子どもの気持ちに<br>なって考え癖をつけたい<br>と思います。                                   | 優しさ溢れる、貴重なお<br>話をありがとうございます。<br>実践していきま<br>す。   |
| 2  | 5月12日(金) | 保護者支<br>援<br>子育て支<br>援 | 10:00～12:30 講演<br>「保護者支援・子育て支援の役割と機<br>能及び現状と課題」<br>「教育・保育施設等の特性を活かした<br>支援」<br>「保護者の養育力の向上につながる<br>支援」 | 名古屋柳城短期<br>大学 保育科<br>教授<br>小嶋 玲子氏                                | 集合<br>研修<br>(こども<br>みらい<br>館)<br>定員<br>70名 | 保護者支援や相談は一人<br>で答えよう、解決しよう<br>とするのではなく保育者<br>間で共有しみんなで解決<br>していけばいいと改めて<br>思えたので意識してい<br>きたい。                                     | 見えない支援、気付か<br>ない間に支援していく内<br>容を充実させていけたら<br>と感じました。   | 保護者支援は日々の保<br>育も含まれることを、他<br>の職員にも伝えたいと思<br>います。  | グループワークは数分<br>でしたが交流が楽しかった<br>です。専門性について学<br>ぶにはコロナ禍の中では<br>なかなかグループワーク<br>できなかったのが良かった<br>です。ありがとうございます。                                       |
| 3  | 5月15日(月) | 保健衛生<br>安全対策           | 13:30～16:00 講演・演習<br>「保護者に対する相談援助の方法と技<br>術」<br>「保護者に対する相談援助の計画」  | (株)アイギス<br>代表<br>脇 貴志氏   | ZOOM<br>動画<br>視聴                           | 成功体験をみんなで共有<br>して園全体の自己肯定感<br>をあげていきたい。   | 「相談」というところが<br>必ず答えないといいな<br>いと思ってしまう所を、<br>緩やかに考え、共感する<br>相手の気持ちに寄り添<br>うだけの支援も大切にす<br>る。                                      | 反省だけでなく、出来<br>た事も振り返り、なんで<br>うまくいったかを分析し<br>ていくこともしていきたい。   | 傾聴の重要性を重視し<br>て、保護者の言葉をしっ<br>かりと聞いて寄り添っ<br>て行きたい。   |
| 4  | 5月17日(水) | 乳児保<br>育・<br>教育        | 13:00～15:30 講演・グループワーク<br>「発達とそのメカニズム」<br>「乳児保育・教育の役割と機能」<br>「乳児保育・教育の現状と課題」                            | 保育SOWラボ代表 非営利団体<br>コードモ/ミカタ代<br>表理事 乳幼<br>児教育実践研究<br>家<br>井桁 容子氏 | ZOOM<br>動画<br>視聴<br>(1週間の<br>み)            | とても良い講演で職員全員に<br>聞いてほしい!と思う内容で<br>した。まさに今直面している<br>問題だったのにで心に響きま<br>した。なかなか方針を変える<br>のは難しいですが井桁先生<br>のお言葉を胸に自信を持って保<br>育を楽しみたいです。 | 保育士の悩みはほぼ共通して<br>いて、どうしても集団に入れ<br>てみんなと同じようにさせ<br>る保育になってしま。子ど<br>も達それぞれの子供に寄り<br>添ったり成長に合わそうと<br>思っているけどできない現実が<br>あることを知りました。 | 時代もどんどん変わって<br>いるし保育観など新しい<br>勉強ができて良かった。<br>こうあるべきという考え<br>がよく出てきてしまうの<br>で固定概念は捨てて子ど<br>もや保護者と向き合っ<br>ていきたいです。    | 今回も日々の保育に活かせる<br>内容ばかりで勉強になりました。<br>最後の質問の「片付け」<br>についても「ものを大切にす<br>る視点」「明日の遊びにつ<br>なげていく視点」があり、保<br>育者は子どもの何を助けたいか<br>考えるように心がける必要が<br>あると感じた。 |
| 5  | 5月26日(金) | 新規採用<br>者研修            | 10:00～12:30 講演・グループワーク<br>「乳児保育・教育における保育者の関<br>わり」<br>「子どもとの関わり」  | 大阪総合保<br>育大学学長<br>大方 美香氏   | 集合<br>研修<br>(こども<br>みらい<br>館)<br>定員<br>70名 | 感覚あそびで、片栗粉が<br>面白いと知ることができ<br>たので、実際にしてみ<br>たいと思いました。   | 自分の気持ちを自分で満<br>たすことのできない乳児<br>や幼児に対して一人一人<br>の気持ちを読み取り子<br>ども達が「気持ち良い」<br>と思える保育をしていき<br>たい。                                    | グループワークがあるこ<br>とで自分以外の思いや他<br>園での事を知れ、感觸遊<br>びを取り入れてみたいと<br>感じた。一人一人の子ど<br>もの接し方、関わりを振<br>りかえる機会になり、見<br>つめ直していきたい。 | 抱っこひとつでも子供た<br>ちにも色々な思いがある<br>ことが分かったので、そ<br>ういう思いや意味を感じ<br>取りながら抱っこして上<br>げたいです。   |
| 6  | 5月31日(水) | 保健衛生<br>安全対策           | 13:30～16:00 講演・グループワーク<br>「幼児期にふさわしい生活」<br>「子どもとの関わり」   | ジャーナリスト<br>駒沢女子短期大<br>学保育科 教授<br>猪熊 弘子氏                          | ZOOM<br>動画<br>視聴                           | 同じ遊びでもどんな威風<br>凛凛に遊んでいるか、誰と遊<br>んでいるかも見ながら子<br>どもの姿をよく見ていき<br>たいと思った。   | 色水遊び、砂遊びでも自<br>分の思いつかないような<br>素材や育ち、やり方、環<br>境が知れた。子どもの興<br>味をひくような遊び、環<br>境づくりをしなが取り<br>入れていきたい。                               | 自分も子どもにとっての<br>環境になっているという<br>自覚を持ち、1つひとつの<br>関わり方を丁寧にしてい<br>きたいと思いました。   | 子どもの遊びを見るとき<br>は、大人の考え方だけ<br>でなく、しっかり子ども<br>の意見を聞く事が大切だ<br>と思った。  |
| 7  | 5月31日(水) | 保健衛生<br>安全対策           | 13:00～15:30 講演<br>「事故防止及び健康安全管理に関する<br>組織的取組」   | ジャーナリスト<br>駒沢女子短期大<br>学保育科 教授<br>猪熊 弘子氏                          | ZOOM<br>動画<br>視聴                           | 窒息しやすい食べ物が昔<br>に比べて今は増えてきて<br>いるので、自分の手を<br>「はかり」にして食べ物<br>おもちの大きさを確認<br>する習慣をつけようと思<br>います。                                      | 思わぬことで事故は起き<br>るものなので毎日毎日注<br>意して保育を進めてい<br>こうと思いました。これか<br>らプールの始まるので十<br>分に気をつけて行き<br>たい。                                     | 過去の事故の事例を沢<br>山教えていただき、自園<br>でも危険な箇所がないか話<br>し合う機会を得ることが<br>できました。とてもいい<br>研修をありがとうございました。                          | 危険予測を意識しなが<br>ら、一人一人が安心して<br>楽しめる保育を工夫して<br>いきたいと思ひます。  |

|    |          |                        |  |   |  |   |  |  |  |
|----|----------|------------------------|--|---|--|---|--|--|--|
| 9  | 6月8日(木)  | 保護者支援<br>子育て支援         | 10:00~12:30 講義<br>「社会資源の理解」<br>「地域の子育て家庭への支援」<br>「保護者支援における面接技法」I          | 名古屋柳城短期<br>大学 保育科<br>教授<br>小嶋 玲子氏               | 集合<br>研修<br>(こどもみらい館)<br>定員<br>70名           | 子どもにとっても保護者にとっても最初の先生ということに改めて身の引き締まる思いだった。それを心に留めながら保育にあたっていきたい。   | 「昭和の時代の長い人が平成の人に価値観を押し付けられない」という言葉が心に残りました。子育ての話だけでなく雑談でもいいので保護者の方と会話することを大切にします。                          | 社会資源として自分や園ができるか具体的に考えていきたいと思った。小さなことでも保護者の支援になればと思う。  | 一時預かり担当や地域子育て支援保育士はそれぞれ一人ずつなのでクラス担任との繋ぎ役をもっと丁寧にしていけないと思いました。まずは不安な思いを聞き取る事から始めようと思います。 |
|    | 10       |                        | 13:30~16:00 講義・演習<br>「保護者支援における面接技法」II                                     |   |  | 保護者の方の心を受け止め、聞けるために忘れがちな自身の心身の健康を意識していきたい。  | 何気なく「すみません」をよく使ってしまったので、これから「ありがとうございます。」を心掛けていきたいと思いました。こちらが伝えたい事ばかり話すのではなく、聞く耳を持ち、共感する事が大切だとわかり実践していきたい。 | 子どもや保護者に対しても沈黙した時にはこちらからどんだん話しかけてしまっていたと気付いた。沈黙は相手が考えている時間であるため、焦らずゆっくり話を聞けるようにしていきたい。               | リフレイムの言い換えは普段の保育(子どもへの声掛け)をしていく時にも役に立つものだと思います。  |
| 11 | 6月19日(月) | 保健衛生<br>安全対策           | 13:00~15:30 講演<br>「災害への備えと危機管理」<br>「他職種との協働」                               | (株)アイギス<br>代表<br>脇 貴志氏                          | ZOOM<br>動画<br>視聴                             | 研修はヒント。自園にどう取り入れていくかが大切という先生のお言葉を聞き、そのことを頭におき今回の研修を受けさせていただきました。  | 職員全員は救命救急できるようにならなくてはならないと思った。そういう世の中にしていかねばならないと思った。  | 脇先生の研修は子どもや園・自分たちを守るための知識獲得が多く、より自分に足りない事や反省が浮かびます。危機意識を持ち対応できる備えを行いながらも未然に事故を防ぐ出来得る情報収集して保育に取り組みます。 | 熱中症などの天候によって引きおこる災害は身近にあることなので、この研修を受講してより安全に保育していきたい。                                 |
| 12 | 6月29日(木) | 人権 I<br>保護者支援<br>子育て支援 | 10:00~12:30 講演<br>「児童虐待の実態及びその予防と対応」                                       | 京都華頂大学<br>教授<br>山川 宏和氏                          | 集合<br>研修<br>(ハートピア)<br>定員<br>70名<br>動画<br>視聴 | 今回の研修の中で、入園児の様子を記述しておく、メモではなくきちんとまとめておくこと等の話を聞いたので取り組んで行きたいと思いました。  | 虐待をする養育者の5つの特徴と命取りになる7つの症状に気を付けて虐待の予防に心がけていきたいとおもいました。   | 虐待を見つけた際の対応を園全体で周知していきたい。  | 親権について改めてしっかりと聞く事ができ学びとなりました。  |
|    | 13       |                        | 13:30~16:00 講演・演習<br>「子どもの最善の利益の尊重-一人一人の子どもの発達保障-事例集を活用して~」                |   |  | 事例集を活用しての研修を行ったことはありますが、継続して行なっていくことで話がしやすくなるのではないかと思います。   | 園内でのディスカッションに事例集を活用させていただきたいと思いました。  | 色々な意見があって勉強になりました。自分の視点以外のことを聞く事ができて新たな発見でした。  | 何気なく行っていた行動や言動、見て見ぬふりをしていること等、不適切な保育について今回の冊子を見直し、活かしていきたい。                            |
| 14 | 7月3日(月)  | 保護者支援<br>子育て支援         | 13:00~15:30 講演・グループワーク<br>「専門職及び関係機関との連携」<br>「地域資源の活用」<br>「『子どもの貧困』に関する対応」 | 京都女子大学<br>発達教育学部・<br>児童学科<br>教授<br>浦田 雅夫氏       | ZOOM<br>動画<br>視聴                             | ここ数年問題にされている事や見直しが必要な事についてとても分かりやすく理解を深める事ができました。普段保護者支援をする中で確かに家庭内のことも全部ではないが話を把握しているつもりではいるので個別の支援に繋がるように心がけたい。 | ケーススタディ(架空事例)を通して保護者へ対応や子どもの観察・関係機関との連携について学ばせていただきました。どのような対応をしていけばよいか園として話し合っ対応していきたいと思いました。             | 毎日、子どもや保護者と関わる仕事であるからこそ気が付ける事もたくさんあると思いました。見逃さず、園全体や市町村と連携を取っていききたいです。                               | 悩みを抱える保護者の背景を考え、寄り添える保育者でありたいと思いました。「ヤングケアラー」についても知り、今後に活かしたいと思います。                    |
| 15 | 7月7日(金)  | 保健衛生<br>安全対策           | 13:00~15:30 講演<br>「保健計画の作成」<br>「保健活動の記録と評価」                                | 名古屋学芸大学<br>看護学部看護学<br>科学科長小児看護学<br>教授<br>金城やす子氏 | ZOOM<br>動画<br>視聴                             | 聞いたことがあってもまだよく知らない病気が沢山あるのだと気づき、感染予防の面でしっかりしておかないといけないと学びました。   | エビベンを持参している子もいるので、対応の仕方を研修するのはもちろんのことですが、やはり保健担当者(看護職)の配置があればより心強いなど改めて感じた。                                | 保健計画は健康管理、環境衛生、安全管理、健康教育と多くの要素を踏まえた計画という事が分かった。自園の保健計画のねらいと内容をしっかり理解していきたい。                          | 講義の途中に挟まれる保護者への声かけの仕方とちょっとしたアドバイスがとても参考になりました。平易な言葉での説明がとても理解しやすかったです。                 |
| 16 | 7月10日(月) | 幼児教育・保育<br>保育実践        | 13:00~15:30 講演・演習<br>「子どもの発達に合わせた遊びの展開-共感力と安全能力を育もう-」                      | 安田式体育遊び<br>研究所<br>所長<br>居関 達彦氏                  | ZOOM<br>動画<br>視聴                             | 実践動画が沢山あり分かりやすく、先生の話方がとても興味がそそられるもので、聞いていて楽しい研修でした。自園でも取り入れたいことが沢山ありました。  | バトンリレーのレパートリーの話の中で色々なバトンが出てきましたが、氷をバトンにするなど季節によってその時その場で変わるのも子どもがワクワクして夢中になれる要素がいっぱい興味深かったです。              | 安田式体育遊び指導法について学ぶことができ、これからの保育に活かしていきたいと思える事を沢山教えていただきました。ありがとうございました。                                | 「子ども同士で関わらせてあげる」「子ども同士の共感力」等いかに子ども同士での繋がりを深められるかという話が印象的でした。                           |

|    |          |                  |  |   |                              |  |  |  |   |
|----|----------|------------------|--|---|------------------------------|--|--|--|---|
| 17 | 7月18日(火) | 保健衛生安全対策         | 13:00~15:30 講演・グループワーク<br>「体調不良や傷害が発生した場合の対応」<br>「救急処置及び救急蘇生法について」                     | 元 京都華頂大学 現代家政学<br>科准教授<br>中村 洋子氏          | ZOOM<br>動画<br>視聴             | 現場の先生方の質問にたくさん答えてくださって、とても分かりやすかったです。  | ケガや発熱時の対応がとても参考になりました。   | 研修をありがとうございました。「子どもが体調不良を訴える力はすごい事」という言葉がとても印象的でした。これからも今回の内容を参考に保育に努めていきたい。               | 子どもの体調は急変しやすいという事で、子供からのサインを見逃さないよう日頃から目を養い、保護者にも分かりやすく伝える事、子どものしんどさを繰り返し知らせることをしっかりしていきたい。       |
| 18 | 7月21日(金) | マネジメント           | 13:00~15:30 講演・グループワーク<br>「職員の資質向上・保育実習への対応」   | みんなのき三室戸こども園園長<br>杉本 一久 氏                 | ZOOM<br>動画<br>視聴             | 初心にもどり、子どもと接することができる、そのことが「しあわせ」だと感謝していきたいと思う。   | 質の高い人と一緒にやっていると、自分も高まるという言葉聞き、全員が心がけ、園全体の質を高めていきたいと思いました。  | 実習生には現場にきているので専門性を指導しがちだが、人間性が何より大事だと聞いて、子どもも実習生も一緒なんだと感じた。未来を担う人材を大切に育てていきたいと改めて思った。      | すぐに対応できる方法を教えていただき、有難かったです。   |
| 19 | 7月26日(水) | 幼児教育・保育          | 13:00~15:30 講演・演習<br>「保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について」<br>「保育所児童保育要録・園児指導要録について」        | 大阪総合保育大学 学長<br>大方 美香氏                     | ZOOM<br>動画<br>視聴             | 要録だけではなく、日々の日誌や記録を書くのにも役立つお話しでした。ありがとうございました。  | 大方先生がおっしゃる現状にたくさん共感させられました。遊びの場面1つにおいてもたくさんの学びがあること、これからは勉強していきます。   | 子どもにとってどのような体験が必要なのか、教育の目的、あり方、保育像などの見直しがありました。  | 具体的に今ある現状の中で、職員同士が同じ思いで(共有した目標を持って)保育にあたりたいです。  |
| 20 | 8月1日(火)  | 保健衛生安全対策         | 13:30~16:00 講演・演習<br>「教育保育施設における感染症対策と血液を介して感染する病気の防止」                                 | 名古屋学芸大学看護学部看護学科科長 小児看護学教授<br>金城やす子氏       | 集合研修(ハートピア)定員70名<br>動画<br>視聴 | ガウン、手袋、マスクの処分の仕方はすぐにでも全職員に伝えたいと思いました。  | エビエンの持ち方がイラストだけではよくわからなかったため、実際にデモ機でやって見る事が出来て良かった。  | 異物除去を実際に人形を使用して体験できて良かったです。話だけでなく実践できたので、保育現場で必要になった時役立つ経験ができました。                          | 嘔吐処理を実際に見ていると、その場付近しか拭いていない事があります。吐物の広がりを実際に見て頂くことより現場の先生方も分かりやすいと思い実践して見ようと思いました。                |
| 21 | 8月10日(木) | 人権II 保護者支援・子育て支援 | 13:00~15:30 講演<br>「人権が守られる環境づくり」<br>「保護者支援・子育て支援の現状と課題」                                | 佛光大学 副学長 教育学部教授<br>原 清治氏                  | ZOOM<br>動画<br>視聴             | フィンランドにネウボラというアドバイスをする場所・受ける場所があり周産期後~就学前まで対応している事を初めて知りました。妊娠期~周産期も対応している事をしり、親は安心すると思う。日本にもネウボラ様な場所(施設)があればと思った。 | 原先生の人を引き付ける話の仕方。講演なのに自分自身も参加している様な進行に時々爆笑、常にうんうんと頷きながら視聴させていただき、具体的な事例を用いての内容は新人からベテラン誰が聞いても分かりやすく全職員で聞かせていただきたい内容でした。     | コロナ禍があり、保育内容を変更してきたことが沢山ありました。その中で出来る範囲で非認知能力を伸ばしているか。今この時期保育所だからこそできる事を考え、進めていきたいと思いました。  | 原先生が面白く講義もとても聞きやすかったです。子ども達と人に関わる力を育てる為に日々考えながら、保育を行なっていきたいと思いました。                                |
| 22 | 8月25日(金) | 乳児保育・教育          | 13:00~15:30 講演・実践についてのグループワーク<br>「全体的な計画に基づく指導計画の作成」<br>「観察を通しての記録及び評価」<br>「評価の理解及び取組」 | 社会福祉法人 真生会白百合心理・社会福祉研究所 理事長・所長<br>青木 紀久代氏 | ZOOM<br>動画<br>視聴             | 乳児期の子どもが5歳児になるとき、どのように成長しているか見通しを立てて計画を立てるとい事がとても印象に残りました。   | 2園の発表がわかりやすくてとても参考になった。エピソードも交えながら内容で日常を思い浮かべ取り入れやすいと思った。  | 職場でもチームを組んでクラス運営をしているので、子ども達を観察したり評価したりしたことは皆で共有することで客観性を担保し、多くを学んでいきたいと思いました。             | 計画立案についての考え方、立案に添った実践及び記録について学ぶことができました。  |
| 23 | 9月1日(金)  | 乳児保育・教育          | 13:00~15:30 講演・グループワーク<br>「0歳児の発達と保育内容」  | 京都文教短期大学 教授<br>松田 千都氏                     | ZOOM<br>動画<br>視聴             | 全ての年齢にいえる内容だと思いました。年々若手職員への指導の難しさを感じる中、土台である保育の事を具体的に聞けた事で、この研修を様々な保育士が受け学びとってほしいと思いました。                           | 「子どもが今を幸せに生活し、未来を生きる力を育てるのが保育」と伺い、改めて保育の楽しさや子どもの可愛さを感じると共に大きな責任も感じました。社会の中でたくましく生き抜く人に成長してもらえよう自分の保育についてどうかな?と考える機会が持てました。 | 0歳児の保育において保育士の余裕がとても大切だと感じました。その余裕が子どもの主体性に繋がるといことは家庭においても保護者の余裕となるように保育士は援助していく必要性を感じました。 | 特に私達の身近にある絵本についての実践記録とその分析が印象的でした。絵本を通してこどもの個性や好きな事の発見ができるというメリットが分かったので少しずつ本に接する時間を増やしてみようと思います。 |
| 24 | 9月14日    | 食育アレルギー          | 10:00~12:30 講演<br>「保育所におけるアレルギー対応ガイドラインの理解~現場における食物アレルギーの対応」<br>※午前午後の予定が入れ替わりしました     | Graine代表 大阪総合保育大学非常勤講師<br>伴 亜紀氏           | 集合研修(京都文教)                   | 思い込みや慣れでヒューマンエラーが起こらないように、日々声出し複数確認をしっかり行なって行きたいです。  | アレルギー除去食を除去するだけでなく栄養を考えて作りたい。  | 給食時に「いっぱい食べられてすごいね」と声掛けをしていたが、よく噛んで食べている事、きれいに食べている事を認める声掛けをしていこうと思った。                     | たまごの接種時期の把握の共有、生活管理表の確認、新しい情報を取り入れる努力の大切さを学びました。  |

|    |           |                |   |  |             |   |  |   |   |
|----|-----------|----------------|---|--|-------------|---|--|---|---|
| 25 | 日(木)      | アレルギー対応        | 13:30~16:00 講演・実演<br>「保育所における食事の提供ガイドラインの理解」<br>「食事の提供における質の向上」   | Graine代表<br>大阪総合保育大学乳児保育学科非常勤講師 伴 亜紀氏<br><br>食育サロン「旬」<br>佐井 かよ子氏 | 短期大学50名(限定) | アレルギーがある子どもみんなで楽しく食べることのできるレシピ、ステキだなと感動しました。調理士や栄養士にも共有して園でも取り入れてもらいたいと思います。  | だしを使わなくてもこんなにおいしい味噌汁ができたことがびっくりでした。どれを食べても美味しいし、少しの工夫でこんなに変わるのびっくりでした。   | おはぎを米と小豆を入れて調理するのが食べやすかったので取り入れたいです。  | 離乳食のすすめ方、調理の工夫を学びました。調理する人の大変さを実感しました。  |
| 26 | 9月15日(金)  | 乳児保育・教育        | 13:00~15:30 講演・グループワーク<br>「1歳以上3歳未満児の発達と保育内容」   | 京都文教短期大学 教授 松田 千都氏   | ZOOM 動画視聴   | 脳の話は大変興味深く聞かせていただきました。言葉の一つ一つが大切に感じられ、書ききれない程のメモをとりました。ありがとうございました。   | 1歳以上3歳未満児の時期において「自分で」という言葉が印象に残り子ども達が生活面で自分でしようとするにはどのような保育士の配慮が必要なのかを考えるきっかけとなりました。   | 具体的な事例を挙げていただいて話を聞いたことでより身近に感じることができました。こどもの主体性を尊重するためにも今の子どもへの姿が発達的にどこにあるのか理解することが大切だと感じました。         | 資料にあった実践記録の内容に自分がこれまでに感じたことのある「寝かしつけられなければならない保育者ではない」等の思いについてダメな事ではないという見方がされていて励まされる思いでした。上手くいかない事や気がかりな事も目線を変えて見直してみたい。    |
| 27 | 9月21日(木)  | 支援を必要とする子どもの保育 | 13:00~15:30 講演・演習<br>「障がい児保育における個々の発達を促す生活と遊びの環境」<br>「障がいのある子どもと保育者の関わり」<br>「障がいのある子どもと他の子どもとの関わり」<br>「他職種との協働」 | 京都文教短期大学 幼児教育学科 学科長・准教授 張 貞京氏                                    | ZOOM 動画視聴   | 張先生の非常に明確でわかりやすい言葉による話が聴く者の心を捉えたと同時に自分が今まで行ってきた保育の基本を見つめ直すことができた。日常の何気ないひと言が子どもの心にどんな影響を与えるのか、その逆でどういう言葉で子どもの心を開く事ができるのか等々を学ばせていただいた。 | 現在多動傾向のある子どもの要支援担当として働いており内容の中に自分が悩んでいたことや事前質問で同じように気になった部分が出てきて、自分の保育と重ねながらみる事ができ気付いたことが多かったです。   | 障がいを持っている子だけではなく、乳児にとっては簡潔に伝えたり、視覚で分かりやすくする環境の大切さを学ぶことができました。   | 私たちの質問に答えて頂いたり、事例を挙げて解説して下さったりしてとても分かりやすく教えて頂きました。ありがとうございました。「もし〇〇だったら(あなたは)××できる？」など例え話があったことでより理解もしやすくなり、落ちてる事ができました。      |
| 28 | 9月26日(火)  | 乳児保育・教育        | 13:00~15:30 講演<br>「乳児保育・教育における個々の発達を促す遊びの環境」  | 京都文教短期大学 非常勤講師 みんなのき黄檗 田中みゆき氏                                    | ZOOM 動画視聴   | 講師の田中先生の園の保育室の写真を沢山見せていただきイメージが湧きやすかった。広さや棚の配置等、自園では真似できないが「子どもの困った行動に夢中になっていることのヒントがある」という点はすぐにでも参考にできると思った。                         | 乳児期の関わり方の重要性を改めて感じた。何かをさせない、育てないという気持ちが強くでているので子どもを見て知って共感して気持ちに寄り添うなど、考えの視点を変えていかないといけないと思った。田中先生のやさしく分かりやすい話に納得しながら聞き入り、もっと聞かせて頂きたいと思った。 | 実際に園の様子を写真や動画で紹介していただき、玩具の配置や種類をみる事ができとても参考になりました。簡単に作れそうなものが多く翌日に試したところ子ども達の反応もよく、他の玩具も作ってみたいと思いました。 | 講師の園での環境をみる事ができより詳しく知ることが出来た。いつもキレイに片付け次の日を迎えていたのですが「昨日の続き」を意図的に残すことで子どもたちの気持ちがその日で終わることなく楽しい(期待)気持ちが継続できることを学び、実践していきたいと思った。 |
| 29 | 10月12日(木) | 支援を必要とする子どもの保育 | 13:00~15:30 講演・演習<br>「障がいのある子どもの発達と援助」I   | 京都文教短期大学 幼児教育学科 学科長・准教授 張 貞京氏                                    | ZOOM 動画視聴   | 自分の興味のある分野で改めて気づきが出て良かった。とくに自分が進めている保育についての不安に思うところにスポットライトが当たっていたのでヒントを沢山いただけた。ありがとうございました。  | 障がいのある子どもは個人差も大きいためひとりひとりに合った支援をすることが大切だと感じた。事例があることでイメージがしやすく「保育の中で実行や継続が可能かを考える」と仰っていたところが印象に残りました。自園でもしっかりと考えていきたいです。                   | 講演を聴きながら、自分が今まで出会ってきた子どもたちの姿を思い出して、あの時はこういう事で困っていたのだろうな、もっとこのように関わればよかったと振り返るきっかけになりました。              | 障がいのある子どもも集団の中で支え合い育つことができるよう保育していきたいと思っています。言葉かけ等具体的に教えていただき今後の保育に活かしていきたいと思いました。  |
| 30 | 10月17日(火) | 食育アレルギー対応      | 13:00~15:30 講演<br>「栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能」<br>「食事摂取基準と献立作成・調理の基本」<br>「衛生管理の理解と対応」                                   | 国立大学法人上越教育大学大学院 教授 野口 孝則氏  | ZOOM 動画視聴   | 給食を残さず食べるのではなく、子ども達が満腹で幸せな気持ちで食事ができたことが大切だとしました。今後も個々に合わせて楽しく無理のない食事ができるようにしていきたいです。  | 「ごはんと一緒に情報も食べている」という言葉が印象に残りました。子ども達への言葉掛けを大切にしたいと思いました。ありがとうございました。   | 子どもの代弁者である保育士が苦手な物なども栄養士に伝えて良いということを開き、次からそういう目線へ伝えていきたいと思えた。食べ物だけでなく、食べ方もいねいに教えていきたいと思った。            | 乳児期に偏食を予防することで子どものその後の食事に対するイメージが変わってくるのが良かったので、楽しい雰囲気での食事を心がけたいと思いました。   |
| 31 | 10月24日(火) | 食育アレルギー対応      | 13:00~15:30 講演<br>「栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能」<br>「食事摂取基準と献立作成・調理の基本」<br>「衛生管理の理解と対応」                                   | 国立大学法人上越教育大学大学院 教授 野口 孝則氏  | ZOOM 動画視聴   | 「食いしん坊な保育者」がいるいないでは子どもたちの意識・感覚の発達にも大きく違いが出てくるのがとても学びが深まりました。  | 食育はイベントで終わりでないということを感じました。また、うまみは保育者や大人が伝えなければいけないということだったので、子どもたちに色々な食材や食品、その味を伝えていきたいと思えます。  | 野口先生の研修は毎回わかりやすく楽しく受けさせていただき、配布資料の内容以外にも沢山の情報や知識を教えていただけるので隙間がなくなるほど書きこみました。これを機に食育計画を見直すことができました。    | 他園での取り組みをみて地域によって違ったり、様々な食育の方法があることが学べて良かったです。ありがとうございました。  |
| 32 | 10月31日(火) | 食育アレルギー対応      | 13:00~15:30 講演<br>「食育のための環境(他職種との協働)」<br>「食生活指導及び食を通じた保護者への支援」<br>「第四次食育推進基本計画」                                 | 国立大学法人上越教育大学大学院 教授 野口 孝則氏  | ZOOM 動画視聴   | 朝ごはんが食べられない、など悩みを抱えている保護者にも寄り添いながらコミュニケーションをとる子どもも大人も「食」の時間が楽しくなるような関わり方をしていきたい。  | 食育に関する保護者支援について園での給食の味付けや形状などを知ってもらう為試食会が必要だと感じた。また毎日に給食を展示したり、アプリでの配信など目で実際に見てもらい保護者の方の食育への関心を持ってもらえるようにしていくことが大切だと感じました。                 | 栄養士との連携も大切だが、食育が保護者支援にもなるということが理解できたので、これから保護者に食育についてよいアドバイスができると嬉しいです。                               | 保育園以外にも食育に関する取組を行っていること知ることができて良かったです。研修を受け、自園がある地域にもどの様な団体があり何を行なっているか調べ、より地域について知ることができ良い機会となりました。                          |

|    |                |                |   |                                       |            |   |   |   |  |
|----|----------------|----------------|---|---------------------------------------|------------|---|---|---|--|
| 33 | 11月6日(月)       | 支援を必要とする子どもの保育 | 13:00～15:30 講演<br>「障害のある子どもの理解」<br>「医療的ケア児の理解」<br>「合理的配慮に関する理解」<br>「障がい児保育に関する現状と課題」  | 舞鶴こども療育センター副所長 四方 あかね氏                | ZOOM 動画視聴  | 実際の例から分かりやすく説明して下さったので、とても勉強になりました。具体的な事例のお話しでこの言葉がけをしたい!と思う言葉が沢山ありました。   | 障がい名の理解でなく、ひとりひとりをしっかりとみて、どんな症状に困っているのか困っていないのか見極めていけるように保育していきたいと思った。  | 発達障がいについてそれぞれ細かい説明があり想像しやすく分かりやすかった。支援の難しさもあるが先生の言葉でとても前向きに頑張ろうという気持ちになれた。                | 子どもの自尊心を育むことの大切さ、実際に行う方法など理解することが出来ました。ありがとうございました。  |
| 34 | 11月15日(水)      | マネジメント         | 13:00～15:30 講演<br>「組織マネジメント理解」<br>「教育・保育施設等におけるマネジメントの現状と課題」「関係法令・制度及び保育指針・教育保育要領について」<br>「他専門機関との連携・協働」<br>「京都式保育人材キャリアパスモデルについて」                | 株式会社エイデル研究所常務取締役・京都支社長 小林 雄二郎氏        | ZOOM 動画視聴  | とても聞きやすく、興味深い内容でした。人材の育成と組織の活性化を後回しにしないようにしていきたいと思いました。   | 副主任として、職員から信頼されているのか?自分自身に問いかけ反省するよい機会になりました。ありがとうございました。   | 内容が分かりやすく、キャリアパスについても再確認できました。マネジメントについても目指すべき姿がイメージしやすくなりました。                            | チェックリストを通して、これからしていかないといけない事が明確になりました。ありがとうございました。   |
| 35 | 11月21日(火)      | 食育アレルギー対応      | 13:00～15:30 講演<br>「アレルギー疾患の理解」<br>「食物アレルギーのある子どもへの対応」<br>「アナフィラキシーショック(エピペンの使用方法を含む)の理解と対応」   | 医療法人杏華会 あかい家のこどもクリニック院長 浅井 大介氏        | ZOOM 動画視聴  | 命を守る仕事だと… 思っています! レポートを書いた後に、研修動画をもう一度見直しました。   | アレルギー児の対応は少しの見落としや間違いで生死にかかわるのだと怖くなったと同時に意識が高まった。学びの多い研修をありがとうございました。   | 仕組み化、心理的安全性の高い職場づくりを目指していきたい!!と思いました。   | 食物アレルギーの子どもへの対応以外にもSIDSについてや誤飲時の対応など保育の現場でおこる可能性のある事例についても学べた。今まで大丈夫だったからと安易に考えず、子どもたちが安心安全に伸び伸び過ごせるよう取り組んでいきたい。 |
| 36 | 11月30日(木)      | 支援を必要とする子どもの保育 | 13:00～15:30 講演・演習<br>「障がいのある子どもの発達と援助」II  | 京都文教短期大学 幼児教育学科 学科長・准教授 張 貞京氏         | ZOOM 動画視聴  | 昨年同じ研修を受け「1回受けたからこの話知ってる」と思っていたが、改めてもう一度受け直してより分かりやすく聞けました。子ども達に対する支援・年齢・発達1人1人に合う支援のあり方を考えていくためのよい研修でした。             | 「目の前には」としての支援でどうすれば…と探っていた時にこの研修を受講できて良かった!初めに言われた「理解しているつもりが理解が進んでいない、繰り返すその子に合った支援が出来るかを確認することが大事」とことん行動の原因、気持ちを探ることからやってみます。 | 困っていることに気付いていない子どもたちの生きづらさがよく伝わりました。何に困っているのか?どうすればその課題を解決できるのか?子ども達と共に考え、導き出していきたいと思えます。 | 発達理解の視点の年齢ごとの表がすごく分かりやすく参考になった。具体的な例から対応の仕方を考える事ができたので分かりやすかった。  |
| 37 | 12月7日(木) 全体研修会 | 幼児教育・保育        | 13:00～13:05 挨拶<br>13:05～13:40 永年勤続表彰<br>13:50～16:20 講演<br>「発達とそのメカニズム」<br>「幼児教育・保育の役割と機能及び現状と課題」<br>「幼児教育・保育と児童福祉の関係性」<br>17:00～19:00 永年勤続をお祝いする会 | 新宿せいがこども園 園長 保育環境研究所ギビングツリー 代表 藤森 平司氏 | 集合研修 東急ホテル | (集合) 自由にはルールがあること、こども達の日常生活や遊びの中で少しずつでも伝えていき、本当の「主体」という事が保育者自身も理解できたらいいと感じました。  | (集合) 選択の自由、選択をすることは責任にもつながる事で自立心も大きく育つと感じた。   | 子ども主体の保育の本質を学ぶことができました。最終的に10の姿に到達するような保育を意識していきたいと思いました。                                 | 0歳児が自分ではいはいをしながら昼寝に向かう姿、自分でおやつを選んでいる様子の映像には驚きました。3歳児以降の行動の基礎は乳児にあるということが納得できました。                                 |
| 38 | 12月14日(木)      | 支援を必要とする子どもの保育 | 13:00～15:30 講演・演習<br>「保護者や家族に対する理解と支援」<br>「地域の専門機関等との連携及び個別の支援計画の作成」<br>「小学校との連携」   | 京都文教短期大学 幼児教育学科 学科長・准教授 張 貞京氏         | ZOOM 動画視聴  | 保護者支援はどれだけ経験を積んでも正解がないので難しいですが、どの場合も「共感と寄り添う」がキーワードであると感じます。目の前にいる子どもの様子をしっかりとみる事で保護者との信頼関係を築く基礎づくりができると思うので心がけていきたい。 | 保護者の対応の仕方や、専門機関について学ぶことができてよかった。実践できるものは早速やってみようと思います。ありがとうございました。  | 保護者との温度差・想いが分かりやすく伝え方の勉強になりました。ありがとうございました。   | 研修を通して、検診の捉え方が保護者と保育者において相違があるケースが考えられると学びました。   |
| 39 | 12月21日(木)      | 支援を必要とする子どもの保育 | 13:00～15:30 講演・演習<br>「全体的な計画に基づく指導計画の作成と観察・記録」<br>「個別指導計画作成の留意点」<br>「障がい児保育の評価」   | 京都文教短期大学 幼児教育学科 学科長・准教授 張 貞京氏         | ZOOM 動画視聴  | 個人の保育計画とクラス全体の保育計画のとらえ方や活用方法について改めて考える機会となりました。ありがとうございました。   | 計画を立てる時、保育者は一人一人の子どもをよく知ろうとし、子どもたちがその目標を実現できたことで成功体験を重ねることが出来ることはとても大切な事だと感じました。  | 指導計画を作成する際の留意点や記録・評価等、分かりやすく説明していただき、今後自身が記入する際は今回の研修を思い出しながらやっていきたいです。                   | 指導計画の記述方法として肯定的かつ具体的な記述がポイントであると学んだので、これは日々の個人記録や発達経過記録などにも活用できると感じた。子どもの出来る事に重点をおき、子どもの力を伸ばせるようにしたい。            |
| 40 | 1月5日(金)        | 幼児教育・保育        | 13:00～15:30 講演<br>「幼児期にふさわしい生活」<br>「遊びを通して学びに向かう力を育む環境構成」<br>「一人一人の発達の特性に応じた支援及び他職種の協働」   | 帝塚山大学教育学部子ども教育学科 教授 清水 益治氏            | ZOOM 動画視聴  | 時代とともに変わる指導要領を理解し、今の子どもたちにあった幼児教育が必要だと感じました。個々に合った指導を行う大切さを学びました。   | 資料が多くあり読み込めるか不安に思っていたが、講義を受けて内容を理解するとこれからの保育に役立つ事がわかりました。活用させていただきます。   | 時代の変化により社会の中でどのようなことに価値があるとされているのかがよくわかった。新しく生み出すために柔軟な発想をすることの姿を大切にしていきたい                | 保育要領の1つ1つに込められている意味などを詳しく知れたことで、毎日保育をする時に意識がかわると思いました。個々の特性に応じた保育ができるよう努めたいです。                                   |

|    |                 |                |  |   |                  |   |  |   |   |
|----|-----------------|----------------|--|---|------------------|---|--|---|---|
| 41 | 1月10日(水) 保育士会共催 | 支援を必要とする子どもの保育 | 13:00～15:30 講演<br>「障害のある子どもの理解」<br>「障がい児保育に関する現状と課題」                             | 明星大学<br>教育学部<br>教授<br>星山 麻木氏                                    | ZOOM<br>動画<br>視聴 | 子ども達の特性をわかり、ありのまま生きていけるようにしなければならぬと改めて感じました。  | 星山先生の話はかみくだいて分かりやすく、的確なワードでもとても理解しやすく感じました。子ども支援は親支援がまず第一！というキーワードを常に心にとめておきたいです。                          | 「虹色」というワードに感銘を受けました。もっと深く理解して、支援の中身を考えてみたいです。   | 支援を必要とする子どもの教育にはアセスメント(寄り添う事)が大切で他の子どもと比べずヘルプが出せるような保育をしていこうと思いました。とても勉強になりました。       |
| 42 | 1月16日(火)        | 乳児保育・教育        | 13:00～15:30 講演<br>「乳児保育の重要性と全体的な計画に基づく指導計画」                                      | 東京家政大学<br>子ども支援学部<br>子ども支援学科<br>教授<br>小櫃 智子氏                    | ZOOM<br>動画<br>視聴 | 乳児期に子どもにあった関わりがどんなに重要なことか、より理解を深める事ができました。今後子どもと一緒に作る保育を楽しみながら日々勉強していきたいと思えます。  | 計画通りに「させる」保育ではなく、柔軟性のあふれる計画を立てたり、子どもの発達や生活の連続性に配慮したりして、一人一人の子どもの実態を踏まえた計画にしていきたいと感じた。                      | 乳児の子どもでも自分の意思をしっかりと持っているが、言葉にして伝えるのは難しいため保育者がよみとり、子どもの意思を尊重した関わりをしていきたいと思いました。                  | 子どもの主体性を大切にしながら保育を行っていきたくと思いました。ありがとうございました。  |
| 43 | 1月19日(金)        | 幼児教育・保育        | 13:00～15:30 講演・演習<br>「全体的な計画に基づく指導計画の作成」<br>「観察を通しての記録及び評価」<br>「評価の理解及び取組」       | 鳴門教育大学<br>大学院学校教育研究科 教授<br>木下 光二氏                               | ZOOM<br>動画<br>視聴 | 今の記録とは全く別の方法で慣れるまでは大変そうですが、確かに誰が見てもわかりやすいと思いました。大切なところがよくわかるお話しでした。ありがとうございました。                                       | 保育をする中で自分では意識していたつもりになっていないか、カリキュラムをしっかりと具現化出来ているのか、改めて考えるきっかけになり、今後特に心がけていきたいと思いました。                      | 視聴ワークが多く、分かりやすかった。木下先生が仰っていた「ハサミを使ってから使えるようになる」とい言葉は保育のいろんな場面にあてはまるなと感じました。                     | 保育の中で「適当な」環境は与えずに考える余地がない又は、準備しすぎてないかという言葉が響きました。そしてカリキュラムが具体化する内容を見直したい。             |
| 44 | 1月22日(月)        | 幼児教育・保育        | 13:00～15:30 講演・ワークショップ<br>「小学校との接続」<br>「アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの理解」               | 鳴門教育大学<br>大学院学校教育研究科 教授<br>木下 光二氏                               | ZOOM<br>動画<br>視聴 | 今回の研修で学んだことは、小学校へ送り出す側としてとても大事なことだと思いました。まずは幼児期に夢中になってしっかり遊び込める保育をし、入学した時しっかり学び込める子を育てたいと思います。                        | 「遊び込み」が「学びこみ」へつながる事例を見て、改めて幼児期に子ども達の遊びの大切さを感じる事ができました。   | 自分の園が小学校とどのような接続をしているのか、知りたいと思える機会になりました。また、交流の仕方やあり方が様々あり参考になりました。                             | 小学校の先生と交流する機会はありませんでしたが、互いに学ぶということは、その現場を見て感じることだと思いました。                              |
| 45 | 1月30日(火)        | マネジメント         | 13:00～15:30 講演<br>「教育・保育施設等におけるリーダーシップの理解」                                       | 株式会社エイデル研究所常務取締役・京都支社長<br>小林 雄二郎氏                               | ZOOM<br>動画<br>視聴 | リーダーシップには色々な理論があり、自分に合ったリーダーシップのとり方を見つけ、職員と共に成長していきたいと思った。  | リーダーシップがうまくいったときや、失敗した時の理由を振り返って次に活かせるようにしたいと思いました。  | 一人のリーダーに任せるとはではなく、みんなが互いの役割や仕事に興味を持ち、チーム全体がリーダーになれるようにしていくがとてもいい事だと思いました。                       | 自分がリーダーシップを發揮しなければならぬ時があった際は、影響力を及ぼす存在である為、園の理念や方針、フォロワーの能力、価値観、立場など、周りを知る必要があると思った。  |
| 46 | 2月7日(水)         | 保育士研修D「まなび」    | 13:00～15:30 実践研究発表<br>カテゴリー4「子育て文化を育む」<br>発表:「家庭や地域との連携による食育の推進」<br>発表園:ルンビニこども園 | 国立大学法人<br>上越教育大学大学院 教授<br>野口 孝則氏                                | ZOOM<br>動画<br>視聴 | 自然の中でのあそびの広がり、そこから生まれてくる子どもの感性や疑問。つながる学び。すべてがどんどん繋がる素晴らしいさを感じられた。   | 毎日の活動を写真に撮り、保護者にむけて掲示しているということがすごいなと思いました。保護者はとても楽しみにしていると思うし、私もスライドの掲示物を見た際、子どもの自然な姿が写し出されていたので見やすかったです。  | 調理員、保育士、園責任者が皆、「子ども主体」という同じ意識、目標を持ち、業務にあたっておられるのを聞き、素晴らしいと思いました。                                | 食育がこんなにも子ども達の生活、保育と密接に関係しているとは思っていませんでした。食べる事だけでなく、生活の一部として食育をとらえ、今後の保育の中で関わり伝えていきたい。 |
| 47 | 2月14日(水)        | マネジメント         | 13:00～15:30 講演・グループワーク<br>「組織における目標のあり方とその設定」<br>「組織の目標と個人の目標づくり」                | 大阪教育大学健康安全教育系教育学部教員養成課程家政教育部門 教授<br>大阪教育大学附属天王寺小学校 校長<br>小崎 恭弘氏 | ZOOM<br>動画<br>視聴 | 理念の共有、人材育成、こどもの人権、改めて大切なことを認識しました。次年度係長や副園長と本日受けた研修を参考によりよい園運営につなげたいと思います。そのためには職員の主体性ですね、今年度の総括する際に種をまいておきます。        | 新しい情報も取り入れながらの講義でもとても興味深かったです。保育の現状を理解し生き残る園になる為には組織としての目標のあり方や個人目標の設定や理解が必要であることがわかりました。人権のお話しも聞いてよかったです。 | 実際にワークを通して乳児のチェックリストを作成した。「わたしは」で始まる事で心情を意識したり、されてうれしい事嫌な事が明確化になる為自分自身を見つめ直すきっかけとなる貴重な時間を頂きました。 | 今回の研修をうけて改めて組織と個人との保育に対する連携の大切さを再確認しました。今後の保育に活かしていきたいです。                             |
| 48 | 2月22日(木)        | マネジメント         | 13:00～15:30 講演<br>「教育・保育施設等におけるリーダーシップの理解」                                       | 株式会社エイデル研究所常務取締役・京都支社長<br>小林 雄二郎氏                               | ZOOM<br>動画<br>視聴 | 若い職員達に対しての日頃からのコミュニケーションを高め、「できません。分かりません。」と言える雰囲気作りや失敗しても多くを追求せず、なぜこのような事態になったのかを一纏に考え、声掛けなど最後まで関わりながら伴走していくように努めたい。 | 雇用についての法律などを知る事ができて良かった。職員間のメンタルヘルスについて学ぶことができ、自分ができる取組をしていき、良い職場環境をつくってきたいと思いました。                         | 立場上「雇用管理」には直接関係する内容ではあったが雇用されている側から普段意識してなかったことで学ばされる内容だった。                                     | いつでも採用管理等そういった仕事を任せられるようになるためにもしっかりと雇用内容や就業規則等の確認を行うべきだと感じた。                          |